

株式会社 アクス

愛 協調 進歩

RECYCLE
ECOLOGY
AGRI BUSINESS
NORMALIZATION

会社概要

所在地:京都市綴喜郡宇治田原町立川間谷35
TEL:0774(88)5866 FAX:0774(88)5865
設立:1986年2月8日
資本金:2900万円

従業員:知的障害者21人(内、重度障害者17人)
身体障害者 1人
障害者職業生活相談員10人 計 32人

アクスの理念・思い・事業

- AKSの三箇条『愛・協調・進歩』
・ノーマライゼーションのハイオニアとして27年間続けてきた三箇条
- 社会のお役立ち感、使命感
・リサイクル、エコロジー、アグリ事業における知的障がい者雇用
- 当社の事業
『農業、食育事業』
『総合リサイクル事業』ISO14001:2004認証取得
『障がい者自立支援養成教育事業』
『知的障がい者人材活用ノウハウの集積』
・知的障がい者雇用27年の人材活用のノウハウあり!
- 当社の障がい者雇用における主な表彰実績
・平成11年京都府障害者雇用促進協会 会長賞受賞
・平成15年度京都市障害者雇用促進協会 会長賞受賞
・平成20年度社団法人高齢・障害者雇用支援機構理事賞受賞
・平成21年京都府障害者就業支援プラン検討委員会優良
・平成23年京都府はたもとふる企業 認証

業務内容

- ・本社工場
ハウスでのミニトマトの栽培、加工、販売
野菜の栽培、加工、販売
有機栽培用の資材の生産、販売(堆肥、液肥、消毒液)
障害者雇用支援セミナー(企業向け)
- ・城南衛生管理組合の業務受託
リサイクルプラザ エコポート長谷山
資源化センター・リサイクル工房
缶・ビン・ペットボトルの選別・圧縮業務

知的障がい者の特性

- とにかく真面目に、真剣に仕事をする
・健全者は100%の能力を持って80%しか使っていない
障がい者は健全者の40%以下の能力だが持てる能力100%使って働く
・まじめに一生涯懸命が、他の社員に伝染する
- くり返しの単純作業での驚くべき能力
・適切な指導があれば持続性、再現性は折り紙つき
- 『礼儀、しつけ、生活態度』と『責任感』
・人間味、自立力UP
- それぞれにアジャストした労働特性がある
・マニュアル化、細分化で効率UP
⇒知的障がい者の特性が農作業とベストマッチング!

アクスの人材育成

- 知的障がい者の特性を徹底的に把握する
・個人個人の特性を把握し、それぞれのマニュアル割り
- 指導するときも、褒めるときも真剣に
・指導者が手本となる、憧れの存在となる
- 知的障がい者を必ず『一人前』にする強い思い
・個人の自立と共に会社の成長も!!
- 次のステージを用意してやる
・短いスパンはもとより、将来的なステージが開ける
- 脈々と伝承してきた独自の教育ロールモデル
・27年の障がい者雇用を通じて延べ300人の個人特性のモデルケースあり

知的障害者の積極的な雇用

- 知的障害者にターゲットを絞り積極的な雇用をすることにより、骨太の強い企業になる。
- 知的障害者を、指導することにより指導者・中間管理職が育つ。
- 助成金の管理・申請により税務がクリアになります。



知的障害者との出会い

1985年、アクスの前身の山田金属が人手不足に・・・
 時代は、バブル期で零細企業で3Kの業種は軒並み不景気に・・・
 そんな時に、前社長が車椅子の人で手作業で仕事をやったらできるのではないかと・・・
 職安、相談室から最初に紹介されたのが知的障害の新卒の女の子でした。
 それが最初の出会いでした。

障害者雇用のメリット・デメリット

メリット

- とにかく、まじめ。
- 同じ工程を、飽きずにする。
- 人数を確保する時に、行政支援がある。
- 助成金がある。(設備、人材)

障害者雇用のメリット・デメリット

デメリット

- 難しい仕事は、憶えられない。
- 仕事を、憶えるスピードが遅い。
- 生活の、フォローが必要。
- 最低賃金法の、クリアの難しさ。

アクスの不安解決策

【知的障がい者を雇用するにあたっての不安】⇒【アクス問題解決策】

- | | |
|---|---|
| <ul style="list-style-type: none"> □ 障がい者を雇用しようと思っているが、職場に受け込めるか、仕事がきちんとできるか不安である。 □ 知的障がい者に仕事をどのように教えたらよいかとまどっている。 □ 障害の特性に合わせて作業工程を変えたいと思っているが、どのようにすればよいかわからない。 □ 休みがちな障がい者がいるが、原因が分からず困っている。 □ 長く勤務している障害者の作業量が最近落ちてきたが、どのように指導するべきか迷っている。 | <ul style="list-style-type: none"> ⇒ 知的障がい者が「中心」となる仕事を用意して、指導員の適切な指導のもと、彼らが万全の体制で仕事に取り組める環境を創ります。 ⇒ 経験を積んだ指導員が、アクスが脈々と築いてきた教育モデル、マニュアルのもとに指導する。 ⇒ 彼ら個人個人の特性、スキルアップの度合いを見抜き、適材適所に人員を配置する ⇒ 常時より彼らの家族や相談室と綿密なコミュニケーションを取り、原因を特定し問題解決にあたる。 ⇒ 現状を説明し、本人・家族了解のもと、作業所等の行政各団体などと連携し、緩やかに次のステージを 用意する。 |
|---|---|

農作業を通じて地域活性 ～知的障がい者がもたらすメリット～

- **社会参画へのアピール度**
 - ・知的障がい者と地域住民が、農作業を通じて豊かな地域コミュニティを創出する
 - ・リサイクル事業を通じて、地域の環境教育にお役立ち
- **地域のコミュニティ及び環境教育**
 - ・知的障がい者が地域住民との「接着剤」の役割を担う！
 - ・高齢者（ブレン）、精神障がい者、若年就労困難者（ニート）が社会参加しやすい環境ができ、雇用を促進する
- **地域雇用のスパイラルアップ**
 - ・知的障がい者を雇用することによって、地域雇用の拡大につながる
 - ・高齢者、精神障がい者、若年就労困難者（ニート）の定着雇用につながる
 - ・将来的には外国人労働者の地域参画を生み出す土壌をつくる

⇒ノーマライゼーションの世界観

知的障害者と共に働く

25年あまり、知的障害者の方々と仕事を通じお付き合いさせていただいて感じたこと・・・
私たちは指導員という肩書きがありますが、現場で一緒に働いています。
そこで感じたことは、指導者、管理者が育つ。
教える立場の人が共に働くことで、感じること
気づくことの大切さ、本物の人材育成に役立っています。